

令和5年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要
（「指定管理者制度導入の適否」に係る審査）

1 開催日時 令和5年5月11日（木） 14:20～14:40

2 開催場所 青森市役所 議会棟4階 第2委員会室

3 対象施設 青森市幸畑墓苑

4 出席者

(1) 選定評価委員 委員長 白戸高史（企画部次長）
副委員長 工藤拓実（総務部次長）
委員 松本大吾（青森大学准教授）
委員 西村晴夫（東北税理士会青森支部税理士）
委員 木村久美子（市民部次長兼行政情報センター所長）
委員 中村敦（農林水産部 次長）
委員 石村淳（浪岡振興部 次長）

(2) 施設所管課（観光課）

課長 沢木正明
主幹 坂本亮
主事 坂本航一

(3) 制度所管課（財政課）

副参事 岩渕寿哉
主幹 宮崎恭次
主査 船橋裕紀
主査 櫻田博光

5 案件 「指定管理者制度導入の適否」に係る審査

6 審査結果 全委員異議なく、全会一致で次のとおり了承された。

- (1) 指定管理制度導入の適否：適
- (2) 指定期間：5年間
- (3) 利用料金制：一部利用料金制
- (4) 募集形態：公募
- (5) グルーピングの適否：なし（単独施設）

7 主な質疑内容

委員：民間事業者に委ねるメリットとして、自衛隊出身者及び教員出身者の配置が可能とあるが、現在自衛隊出身者及び教員出身者は実際に配置されているのか。

施設所管課：現在は自衛隊出身者が1名配置されている。教員出身者の配置までは出来ていないものの、今後も積極的な配置を励行していく。

委員：外国人観光客はどれくらい来ているものか。また、外国人観光客への対応はどのようにしているものか。

施設所管課：外国人観光客を個別にカウントしているわけではないため、一概には言えないものの、感覚的には来館者はごく少数である。また、外国人観光客の対応については、展示資料の説明文を英訳し、ラミネート加工して掲示している。

委員：30年程前の八甲田山雪中行軍遭難資料館には事件の生々しい資料も置いていたと記憶しているが、現在の資料館では展示物の入替等を行っているものか。

施設所管課：現在の資料館は平成16年にリニューアルオープンしたもので、収蔵庫で貴重な資料等の保管は行っているものの、開館以来大幅な展示物の入替は行ってはいない。